

提出 順番	No. /	令和 7 年 2 月 27 日 午前・午後 9 時 35 分受領
----------	----------	-------------------------------------

令和 7 年 2 月 27 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 谷口 和弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 合併から20年目を迎えた新「幕別町」の更なる発展に向けて	平成18年2月6日、忠類村が幕別町に編入合併する形で新「幕別町」が誕生した。国の主導で推進された「平成の大合併」は、十勝管内においても様々な組み合わせが検討されたが、十勝管内19市町村で合併が成立したのは幕別町、忠類村のみであった。 合併に当たっては、平成16年1月、幕別町、忠類村、更別村で「十勝中央合併協議会」を設置したが、1年経たずして更別村が離脱。その後は、「幕別町・忠類村合併協議会」による協議が再開され、平成17年2月に幕別町長・忠類村長が「合併協定書」に調印し、同年8月、総務大臣によって正式に告示されるに至った。 調印に当たって策定された「新町まちづくり計画」（以下、「本計画」という。）は、幕別町及び忠類村の合併後の新しいまちを創造していくための「基本方針及びそれを実現するための施策」について定め、「調和のとれた総合的かつ効果的な新町建設を推進することにより、地域の速やかな一体性の確立を図るとともに、新町の均衡ある発展と住民福祉の向上を目指す」こととした。 令和7年は、新「幕別町」が誕生して20年目の年、来年2月には、新「幕別町」が誕生して丸20年の節目を迎える。新「幕別町」が「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する」という自治体の責務を更に強固に発揮していくことは、引き続き

2 移住促進の取組の強化を	課題となるであろう。 ついては、以下の点を伺う。 (1) 「本計画」では、新町の将来像を「緑の大地に、人と人とが、子供や若者からお年寄りまでが、住民と行政が、それぞれ一体となって、知恵を出し合いながら、農業をはじめとする産業が躍動する、人にやさしい、住みよい豊かな郷土を築いていく」という思いを込め、「人と大地が躍動し みんなで築く ふれあいの郷土」と設定している。 現時点で新「幕別町」の将来像に対する到達点をどのように考えているか。 (2) 「本計画」の期間は、令和7年度とされている。今後の新町に関わる計画の策定予定は。 (3) 新「幕別町」の誕生の20周年記念事業の計画はあるか。また、同10周年記念事業として定めた「シンボルマーク」、「ご当地ナンバープレート」、「町の花・木・鳥」の浸透状況は。 (4) 新「幕別町史」の編纂を開始すべきと考えるがどうか。 管内の自治体で移住促進対策に積極的に取り組み、新聞やテレビ報道などを通して「移住体験」から実際に移住者を迎えたなどという成功例が紹介されている。 幕別町においても人口減少が続く中で、十勝管内からだけではなく北海道の内外から移住者を迎えることは重要な課題であると考えます。 ついては、以下の点を伺う。 (1) 幕別町の移住促進の取組は。 (2) 幕別町内の移住体験住宅の整備状況は。
----------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。